令和６年度 事業報告書

（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

法人の名称 特定非営利活動法人 かわさき市民共同おひさまプロジェクト

１ 事業の成果

太陽光発電設置推進のため、イベント出展活動において設置相談助言活動に注力した。川崎市の地球温暖化対策推進の施策に協力して効果的に活動を推進するために情報収集に努めた。関連団体と連携した活動では、市公共施設の屋根貸し太陽光発電事業の取り組みに協力した。

２ 事業内容

（１）自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業

屋根置きの太陽光発電の設置、特に既築住宅への設置を促すために作成したリーフレット「日の当たる屋根は宝の山」をより分かりやすく、設置するメリットを実感できるようにバージョンアップした。イベント活動の場「インターナショナル・フェスティバル（11月17日）」、「脱炭素アクションみぞのくち広場（11月16日）」で広報・相談助言活動を実施した。関心を持ってくれる人もいたが、具体的な相談助言には至っていない。

農地のソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）については、千葉県のソーラーシェアリング発電所見学会に参加した。

以前、太陽光発電設置提案でヒアリングを実施した介護事業者に「オンサイトPPAによる太陽光発電と蓄電池設置の提案」を行ったが、建物が賃貸のため設置することができないとの回答だった。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内、千葉県匝瑳市
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　８７４円

（２）自然エネルギー設備の設置・維持管理事業

（ア）おひさま１号機・２号機の維持管理

１号機（川崎市国際交流センターの太陽光発電）の発電量測定、２号機（川崎フロンターレ麻生クラブハウスの太陽熱温水器）の集熱量測定を継続した。１号機では１６年使用してきた測定システムが故障し修理することも不可能と判明したため、それ以降はパワーコンディショナーの発電量累積値を知らせていただき、その差分で毎月の発電量を記録するように変更している。昨年度まで不自然に発電量が落ちている期間があったが、測定システムの不具合によるもので、発電自体は正常だったことが分かった。２号機は設備使用に関する契約期間が終了する。その後の取り扱いについて川崎フロンターレ株式会社の担当の方と相談し、終了後は移譲することで合意した。今後内容を具体的に詰めていく予定。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人

・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　４，０２６円

（３）自然エネルギーや省エネルギー等に関する情報発信及び普及啓発事業

（ア）各種イベントにおける普及啓発事業

「インターナショナル・フェスティバル（11月17日）」、「脱炭素アクションみぞのくち広場（11月16日）」に参加し自然エネルギーの普及活動を行い、災害時にも役立つソーラーエネルギーの紹介・実演をした。「屋根は宝物チラシ」を使って既築住宅などへの太陽光発電設置提案活動を行った。「おひさまフェス×星空上映会2024（9月29日）」は雨天中止になり活動できなかった。

・日時　　11月16日、11月17日
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　７，２２０円

（イ）情報発信事業

プロジェクトレター№22を作成し2025年2月発行、会員及びこれまでの自然エネルギー事業への協力者に対して送付した。また、当プロジェクトのホームページに掲載し、情報発信を行った。以下の記事を掲載している。

麻生市民館太陽光発電所が順調に稼働していることを報告した。太陽光発電使用の事例として、電気自動車を導入し自宅の太陽光発電の余剰も使って充電し使用しているお宅、集合住宅での災害時に備えた太陽光発電導入事例を報告した。また、「断熱＋再エネ住宅に住んで10年目の実感」ミニコラムも掲載した。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　２４，９２６円

（４）行政や社会への提案・提言事業

「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の参加団体として、イベント「脱炭素アクションみぞのくち広場」に参加、推進会議に参加して登録団体との情報交換を行った。溝口エリアの「脱炭素先行地域」広報のための計画があり状況ヒアリングに参加した。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　０円

（５）その他各号に付帯する事業

（ア）関連団体との連携した活動

自然エネルギー普及の目的を共有する「川崎地域エネルギー市民協議会」と「NPO法人市民電力連絡会」に引き続き参加し情報の共有を図りながら活動を推進した。また、CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行った。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　４，１００円

（イ）個別事業の支援

麻生市民館・図書館太陽光発電所（川崎市公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業）を運営している川崎地域エネルギー市民協議会／川崎地域エネルギー株式会社と連携し、本設備に関する支援活動（発電所見学会、２年目点検、パネル清掃）を行った。

川崎市新エネルギー振興協会は、新エネルギー普及促進のために川崎市の事業者が集まって１６年前に設立された団体である。太陽光発電設置推進のために勉強会などに参加する目的で今年度参加した。勉強会や川崎市国際環境技術展等に参加したが、現在、振興協会が活動目標としていることと当団体の活動目的が必ずしも一致しないことが分かったので、退会することにした。

・日時　　通年
・場所　　川崎市内
・従事者人員　　５人
・受益対象者　　川崎市民及び川崎市内在勤者
・支出額　　１０，０００円